

在日コリアンの韓国ドラマの視聴が民族アイデンティティに与える影響

金 ミンジ◎
Minji Kim

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

Graduate School of Languages and Cultures, Nagoya University

要旨 本稿は、在日コリアンによる韓国ドラマの視聴が、民族アイデンティティに及ぼす影響に関する実証的研究である。分析は、中部地域在住の在日コリアンの男女218名を対象に行った。結果、在日コリアンの「韓国ドラマ視聴」は自民族の言語力の向上への願望、祖国への恋しさなど祖国に向かう思いを示す「感情型民族アイデンティティ」の高揚に寄与することが判明した。

キーワード 韓流、韓国ドラマ、在日コリアン、民族アイデンティティ、メディア影響

1. はじめに

本稿では、在日コリアンによる韓国ドラマの視聴は、民族アイデンティティにどういった影響を与えたのかを明らかにすることを目的とする。

在日コリアンとは、朝鮮半島の植民地支配以降、様々な理由で日本に渡った人々を指す。彼らは、在日コリアンに対する差別から逃れるため、多くの人が通名を名乗り民族的出自を隠している(福岡, 1991, 1993)。

しかし、韓流の流行後、「在日」として生きることに対するプライドを自覚し、自分の民族的出自をカミングアウトする人がいるという報告がある(朝日新聞, 2006, 中央日報, 2009)。

さらに、海外の研究においては、自国発信の放送コンテンツが移民者のアイデンティティの高揚のために機能することが示されている。Shim(2006)は、シンガポールに在住している韓国女性への韓国ドラマの視聴は、彼女らの移民生活に少しずつ活力を与えると同時に、民族アイデンティティを再形成する役割を果たしたと報告した。Siew-Peng, L. (2001)は、1950～1980年代英国に移住した香港人たちは香港の衛生放送を視聴することで、自分が香港に所属していることを意識する傾向が強くなったと述べている。韓国ドラマと在日コリアンにおいても同様の効果が見られるだろうか。以下が本稿の研究課題である。

- (1) 在日コリアンの民族アイデンティティをパターン化する。
- (2) 民族アイデンティティと韓国ドラマの視聴有無との関係について分析する。
- (3) 韓国ドラマの視聴有無が在日コリアンの民族アイデンティティの高揚に寄与する要因であるか否かを分析する。

2. 調査の方法

2-1 調査の概要

本調査は、中部地域在住の在日コリアンを対象に、2010年9月17日から10月17日までの1ヶ月間行った(有効票218票、回収率は67%)。回答者の属性は注1を参考にしてほしい。

2-2 質問紙の構成及び尺度

質問紙は以下のような内容で構成された。

- (1) デモグラフィック変数：性別、年齢、世代、国籍、朝鮮学校通学有無、職業など
- (2) 韓国語会話能力：「1=全くできない」～「7=自由自在にできる」の7段階で測定
- (3) 韓国の食文化実践度：「1=全く食べない」～「6=ほぼ毎日」の6段階で測定
- (4) 韓国の文化実践度：「1=行っている」「2=行っていない」で測定
- (5) 韓国ドラマ視聴有無・頻度・時間項目：韓国ドラマ視聴有無は、「1=見ている」と「2=見ていない」の選択肢で提示、韓国ドラマ視聴頻度は、「1=月1回程度」から「7=ほぼ毎日」の7段階で測定、視聴時間は、「1ヶ月の平均時間」を直接記入する方式で測定
- (6) 民族アイデンティティ項目：多民族アイデンティティ尺度である Multigroup Ethnic Identity Measure (MEIM: phinney, 1996) から引用・作成した16項目を5段階で測定

3. 結果と考察

3-1 民族アイデンティティのパターン化

まず、研究課題 (1) 在日コリアンの民族アイデンティティをパターン化する。本稿では、在日コリアンの民族アイデンティティを図る尺度としてPhinney (1996)のMEIM(Multigroup Ethnic Identity Measure)を用いて分析を行う。これは、多民族社会における移民者を対象にした民族アイデンティティを図る尺度 20 項目によって構成されたものであるが、本稿では在日コリアンに適応させる 16 項目に再作成した。

在日コリアンの民族アイデンティティを問う全質問 16 項目の因子分析の結果、3 つの因子が抽出された。質問項目の内容及び結果を表 1 に示す(バリマックス回転後、固有値 1 以上)。

第 1 因子は、「韓国語の話す・聞く能力を高めたいと思う」「祖国である韓国が恋しい」「自分の子供に韓国語を教えたいと思う(教えている)」など母国語である韓国語能力を高めたり、韓国に対する恋しさを表す項目に負荷が高く、「感情型民族アイデンティティ」と命名した。第 2 因子は、「自分が韓国人であることを皆が知っている」「自分が韓国人であることを認識している」「韓国に愛着を持っている」など祖国への帰属意識とかかわる項目に負荷が高く、「帰属型民族アイデンティティ」と命名した。第 3 因子は、「韓国の歴史・文化について良く他の人と話している」「韓国の歴史・文化・習慣についての理解を深めようと努力してきた」の祖国の文化に関する理解をより深めようとする項目に負荷が高く、「文化理解型民族アイデンティティ」と命名した。ここで研究課題 (1) は、在日コリアンの民族アイデンティティは大きく以上の 3 つの次元から考えることができることが示唆された。

表 1 在日コリアンの民族アイデンティティ(因子分析結果)

項目	感情型民族アイ デンティティ (n=214)	帰属型民族アイ デンティティ (n=215)	文化理解型民族 アイデンティテ ィ(n=217)
韓国語の話す、聞く能力を高めたいと思う	.800	.153	.200
韓国語の読み・書き能力を高めたいと思う	.792	.125	.232
状況さえ許せば、韓国に住みたい	.784	.082	-.096
祖国である韓国が恋しい	.609	.329	.220
自分の子供に韓国語を教えたいと思う(すでに教えている、教えた)	.598	.308	.254
食べ物・音楽・生活スタイルなど韓国の習慣を実践している	.472	.412	.433
自分が韓国人であることを皆が知っている	.081	.807	.048
自分が韓国人であることを認識している	.022	.795	.255
自分が韓国人で良かったと思う	.378	.749	.138
韓国に愛着を持っている	.567	.594	.236
韓国や韓国人がやり遂げたことについて誇りに思う	.408	.541	.333
韓国関連のグループ活動に積極的に参加している	.334	.508	.312
韓国の文化や文化的背景が好きだ	.498	.504	.286
韓国の歴史・文化についてよく他の人と話している	.425	.137	.761
韓国人であることで自分の人生に影響があるか否か考えている	-.152	.338	.718
韓国の歴史・文化・習慣についての理解を深めようと努力してきた	.489	.158	.706
固有値	7.57	1.63	1.07
寄与率(%)	26.7	22.4	15.2

3-2 在日コリアンの民族アイデンティティと各変数との関連

次に、研究課題 (2) 「韓国ドラマの視聴有無」と民族アイデンティティの高揚との関係について分析する。調査結果によれば、韓国ドラマを「見ている」と答えた人は 89.0%であった。

表 2 韓国ドラマ視聴有無による民族アイデンティティの差(t検定)

民族 アイデンティティ	韓国ドラマ視聴			t
	視聴グループ		非視聴グループ	
感情型	20.1(n=191)	>	14.4(n=23)	4.5**
帰属型	27.4(n=192)	>	23.3(n=23)	3.0**
文化理解型	10.2(n=194)	>	8.5(n=23)	2.5*

* 数値は平均値
** p<.01 *** p<.001

ここでは、韓国ドラマの視聴有無による民族アイデンティティの差を検証したものを表 2 に示す。

表 2 を見ると分かるように、韓国ドラマを視聴しているグループの方が非視聴グループより 3 つの民族アイデンティティが有意に高い。

韓国ドラマの視聴者は男女のうち男性が 79.2%、女性が 93.8% であり、女性の方が有意に多かった。

年齢別にみると、年配の人であるほど、韓国ドラマを見ていることが示された。さらに、国籍に分けてみると、韓国・朝鮮籍の人は 91.7%、日本籍の人は 82.8% であり、韓国・朝鮮籍の方がより見ていることが分かる。最後に、

民族学校の通学有無別に示すと、通った経験のある人は96.6%、ない人は82.2%であり、民族学校に通ったことのある人の方が韓国ドラマをより見ていることが分かる。こういった在日コリアンの属性別韓国ドラマの視聴傾向は、民族アイデンティティにおいても同様であった。韓国・朝鮮籍の人、民族学校通学の経験がある人の方が3つの民族アイデンティティが高く、年配の人、韓国語能力が高い人、食文化や民族活動をより行っている人であるほど3つの民族アイデンティティが高いことが示された。

3-3 在日コリアンの民族アイデンティティを規定する要因

本稿の目的は、韓国ドラマが在日コリアンの民族アイデンティティの高揚に効果があるかどうかを明らかにすることである。ここでは、研究課題(3)「韓国ドラマの視聴有無」が在日コリアンの民族アイデンティティにいかにか高揚するのかを分析する。そのため、「韓国ドラマの視聴有無」を含む在日コリアンの「デモグラフィック属性」と言語や文化への実践を示す「民族文化活動の実践」を在日コリアンの民族アイデンティティを寄与する要因としてみなし、3段階で投入する。

表3 民族アイデンティティを寄与する要因(重回帰分析)

	要因	モデル1	モデル2	モデル3	
感情型民族アイデンティティ	デモグラフィック	性別(男=1)	0.019	-0.012	-0.051
		年齢	-0.035	-0.064	-0.087
		国籍(韓国=2)	0.266***	-0.100	-0.096
		民族学校通学(有=1)	-0.049	0.044	0.055
	民族文化活動実践	韓国語能力(1~7段階) 食文化(1~6段階) 文化活動(有=1) 民族活動(1~5段階)		0.327*** -0.232*** -0.028 0.390***	0.304*** -0.242*** -0.043 0.358***
韓国ドラマ	視聴(有=1)			-0.177**	
	有意確立 R-squared(%) F値	0.002 8.0% 4.3	0.000 41.0% 17.6	0.000 44.0% 17.3	
帰属型民族アイデンティティ	デモグラフィック	性別(男=1)	-0.023	-0.046	-0.046
		年齢	0.106	0.067	0.067
		国籍(韓国=2)	0.510**	0.060	0.060
		民族学校通学(有=1)	-0.067	-0.031	-0.031
	民族文化活動実践	韓国語能力(1~7段階) 食文化(1~6段階) 文化活動(有=1) 民族活動(1~5段階)		-0.132** -0.224*** 0.113* 0.557***	0.132** -0.224** 0.113* 0.557**
韓国ドラマ	視聴(有=1)			0.000	
	有意確立 R-squared(%) F値	0.000 30.0% 22.6	0.000 69.0% 56.0	0.000 69.0% 49.5	
文化理解型民族アイデンティティ	デモグラフィック	性別(男=1)	-0.111	-0.134*	-0.151**
		年齢	0.132	0.119*	0.110
		国籍(韓国=2)	0.385**	0.123	0.124
		民族学校通学(有=1)	0.065	0.106	-0.110
	民族文化活動実践	韓国語能力(1~7段階) 食文化(1~6段階) 文化活動(有=1) 民族活動(1~5段階)		0.184** -0.161* -0.077 0.348**	0.175** -0.165* -0.083 0.336***
韓国ドラマ	視聴(有=1)			-0.072	
	有意確立 R-squared(%) F値	0.000 19.0% 12.3	0.000 37.5% 15.5	0.000 38.0% 13.9	

表3は、在日コリアンの3つの民族アイデンティティを従属変数とし、重回帰分析を行った結果である。

まず、「感情型民族アイデンティティ」に対しては、韓国語能力、食文化実践、民族活動、韓国ドラマの視聴有無の4つが寄与する要因であることが示された。本稿で、在日コリアンの民族アイデンティティの高揚に寄与する要因として考えていた「韓国ドラマの視聴有無」は「感情型民族アイデンティティ」において支持される結果となった。

「帰属型民族アイデンティティ」に関しては、民族活動、食文化実践、韓国語能力、文化活動の4つが寄与する要因であることが示されたが、「韓国ドラマの視聴有無」は自分の民族へのプライドや、自分の帰属を考えるアイデンティティの寄与要因にはならなかった。

最後に、「文化理解型民族アイデンティティ」に関しては、民族活動、韓国語能力、性別、食文化実践の4つが寄与する要因であることが示されたが、「韓国ドラマの視聴有無」は自民族文化への理解を深めようとするアイデンティティの寄与要因にはならなかった。

以上の重回帰分析を通じて、本研究の研究課題3であった「韓国ドラマの視聴有無が在日コリアンの民族アイデンティティの高揚を寄与する要因であるか否かを分析する」は、一部の「感情型民族アイデンティティ」のみ支持する結果となった。

* 数値は標準偏回帰係数

* p<.05; ** p<.01 *** p<.001

4. 結論

分析結果、在日コリアンの民族アイデンティティは、自民族の言語力の向上への願望、祖国への恋しさなど祖国に向かう祖国への思いに関わる「感情型民族アイデンティティ」、韓国人としてのプライドおよび所属感に関連する「帰属型民族アイデンティティ」、祖国文化への理解を深めようとする「文化理解型民族アイデンティティ」の3つのパターンによって構成されていることが分かった。在日コリアンの韓国ドラマの視聴経験は、上記の3つの民族アイデンティティのうち「感情型民族アイデンティティ」を有効に高揚することが示された。

本国発信のコンテンツである韓国ドラマの視聴行動は、在日コリアンにおいて韓国語を始めとする民族文化の学習に対する意欲を生み出すとともに、祖国への恋しさを高めることで「感情型アイデンティティ」の高揚を促すことが判明した。

本稿は、多様なメディアが交錯する中で、大衆文化が持つ効果を民族アイデンティティの側面から検討したメディア効果研究として一定の成果を示すことができるであろう。

上記のような結果一特に、韓国ドラマの視聴が韓国語学習への意欲を強化するという一は、日本人においても同様の結果が示されており(金, 2004, 三矢, 2004)、在日コリアンに限った傾向ではない。今後、日本人を対象にした比較研究を通じて、韓国ドラマ視聴の効果が如何なる文脈で発揮できるものなのかについてより深く考察していきたい。

補注

(1)回答者の属性

デモグラフィック属性	
性別	男性:33.0%、女性:67.0%
平均年齢	50歳
国籍	韓国・朝鮮籍:74.8%、日本:25.2%
言語能力	低:47.7%、中:38.1%、高:14.2%
文化活動	行っている:70.0%、いない:30.0%

参考文献

- イ・ヒャンジン(2008). 『韓流の社会学—ファンダム、家族、異文化交流』岩波書店.
- 金相美(2004). 「日本における『冬のソナタ』視聴と効用—韓国に対するイメージ・関心・評価向上を中心に」2003年12月4日ソウル大学言論情報研究所主催 ソウル大学・東京大学合同シンポジウム・プレゼンテーション.
- Shim(2006). Korean Women Television Viewers in Singapore. *Cultural Space and Public Sphere in Asia 2006*, Seoul, Korea.
- Siew-Peng, L. (2001). Satellite TV and Chinese migrants in Britain. In N. Wood & R. King (Eds.), *Media and Migration: Constructions of Mobility and Difference*, London: Routledge. pp.143-157.
- Phinney, J. (1992). The Multi group Ethnic Identity Measure: A new scale for use with adolescents and young adults from diverse groups. *Journal of Adolescent Research*, 7, 156-176.
- 福岡安則(1991). 『同化と異化のはざま—在日若者世代のアイデンティティ葛藤』新幹社.
- 福岡安則(1993). 『在日韓国・朝鮮人 若い世代のアイデンティティ』中公新書.
- 三矢恵子(2004). 「世論調査からみた「冬ソナ」現象—「冬のソナタ」に関する世論調査から」『放送研究と調査』12、12-25.
- 「朝日新聞」2006年1月16日
- 「中央日報」2009年4月22日